第3期　静岡市スポーツ推進計画（2027～2035）の策定に向けて

静岡市総合計画

～第4次総合計画から第5次総合計画へ～
第4次静岡市総合計画は、行政が行う様々な政策（施策や取組）を体系化し、アウトプット（何をするか）を中心に整理しまとめた計画でした。計画の見直しにあたり、静岡市の深刻な人口減少を原因分析し2050年の人口の目標を定め、中長期的な視点から何をすべきかを計画する必要があるため、「政策集型」から、「成果志向型」へ見直すこととし、計画期間を2026年度から2035年度までの10年間とする第5次総合計画が策定されました。

誰もが幸せに暮らせるまちにするための方法

「共働・共創によるまちづくり」

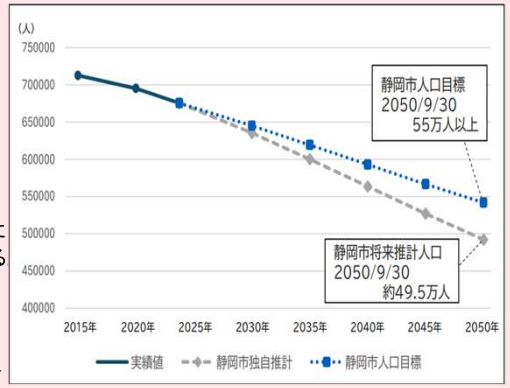
行政の力だけではなく、市民・地域社会・企業・教育機関・行政など、社会全体の力による「共働・共創」が不可欠➡そのための仕組み・土台づくり

成果志向型

「市民にとってどういう良いことが生まれるのか」というアウトカムを意識します。
「観光・スポーツ・文化」の分野では、それぞれが持つ魅力や資源を相互に活かしながら、交流の促進と地域の活力向上を図ることが位置付けられています。

静岡市の課題
「人口減少」

静岡市と同規模の政令指定都市や静岡県では、1970年から2024年までの間で人口増加していますが、静岡市は1万人減少しています。
静岡市の将来人口推計では、対策を講じなければ2050年には約49.5万人となり、現在と比べて約30%の減少が見込まれています。
特に、若年層の流出が大きな要因であり、市内大学等に進学した市内出身者の39%が市外企業に就職しているその背景には若者にとって魅力的な仕事や雇用が不足していることがあげられています。
市は2050年の人口目標を55万人以上に設定し、地域の稼ぐ力を高め、若者の雇用を創出することなどの施策を進めます。



※参照：静岡市公式HP・基本構想・総合計画

スポーツの定義

スポーツとは、スポーツ基本法において、「心身の健全な発達や健康・体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心の涵養等を目的として、個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と定義されています。
静岡市でも、競技スポーツをはじめ、ランニングや散歩、体操のような軽運動まで、幅広い身体活動をスポーツに含めています。（意識的に体を動かす「生活活動」※も含む）
　また、近年ではバーチャルスポーツやeスポーツなど新たな形態も広がりを見せており、「する」「みる」「ささえる」「あつまる」「つながる」といった多様な関わり方を含めて、スポーツを広く位置付けていくことが求められています。

※生活活動とは、身体活動の一部で、日常生活における家事・労働・通勤・通学などに伴う活動

改正スポーツ基本法（2025年9月）

健康長寿社会や共生社会の実現、地域や経済の活性化など、スポーツを通じた社会課題の解決に期待が高まっている現状に対応するとともにウェルビーイングの向上に向け大幅に改正されました。
★改正のポイント★
1　前文の改正
①「する・みる・ささえる」に加えて、新たに「集い・つながる」が追加されました。
②スポーツと文化芸術等の他分野との連携がウェルビーイングの向上につながる旨が追加されました。
2　基本的施策の充実
①まちづくりと一体的なスポーツ施設の整備等
　一体的なスポーツ施設の整備等による地域経済の活性化や地域内外の交流促進を通じた活力ある地域社会の形成に努める必要があります。
② スポーツの公正及び公平の確保（スポーツインテグリティの確保）
　「暴力」や「ハラスメント」等によりスポーツを行う人の環境が害されないよう努める必要があります。
③デジタル技術の活用等（スポーツDX、eスポーツ）
　スポーツ団体と連携して、デジタル技術を活用したスポーツ機会の充実に努める必要があります。
④ 気候変動への対応
　熱中症対策等の気候変動に留意した環境整備等の必要な措置を講じるよう努める必要があります。

※参照：スポーツ基本法、スポーツ庁Webマガジン：スポーツ基本法の改正～社会課題の解決とウェルビーイングの向上～

国、県の動向

国・第4期スポーツ基本計画（2027年度～2031年度）（策定中）

◇計画の狙い◇
スポーツの「楽しさ」で人や地域の可能性を引き出し、未来を切り拓く

重点課題：健康長寿社会や共生社会の実現、地域や経済の活性化、デジタル化の中での人との繋がりなど、スポーツを通じた社会課題の解決に期待が高まっていることから重点課題を設定

1	国民のスポーツ実施促進と「健康インフラ」構築を通じた、ウェルビーイングの向上や経済成長・豊かな社会の実現への貢献
2	ハイパフォーマンスの追求とアスリート等を取り巻く環境整備による、成果・知見の社会への還元
3	スポーツの意義や価値を生かした地域・社会への貢献

※参照：スポーツ庁HP・第４期スポーツ基本計画（中間報告）

静岡県・（第4期）静岡県スポーツ推進計画（2025年度～2028年度）

◇基本理念◇
オール静岡で実現する、
スポーツによる県民のウェルビーイングの向上
～県民が幸福を実感できる社会をつくります～

基本方針１
スポーツによる
豊かで、幸せな暮らし
・社会の実現

基本方針２
スポーツの魅力による地域
活力の醸成

しずおかスポーツ産業ビジョン（2025年～2035年）

以下の５つの施策に取り組み、「スポーツ・コネクティッド・フィールド」の実現を目指す

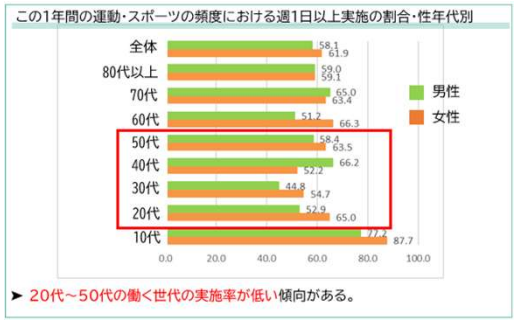
施策１	“みる”スポーツの拡大を通じた好循環を創出
施策２	県内産業とスポーツ分野の共創事業展開
施策３	地域資源を活用した県外から人の呼び込み
施策４	地域スポーツの振興
施策５	スポーツを支える人材育成

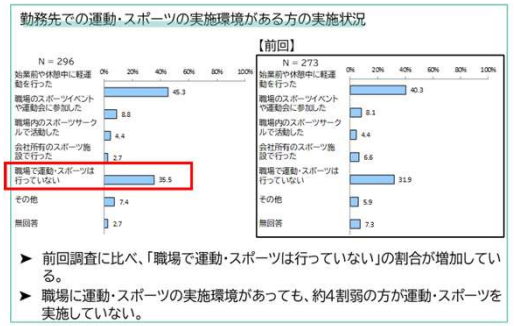
静岡県における障害者スポーツセンター整備基本計画（2025年）

障害のある人が身近な地域で活動できるよう、既存スポーツ施設における「既存施設ネットワーク」構築を推進

※参照：静岡県公式HP・静岡県スポーツ推進計画
しずおかスポーツ産業ビジョン
静岡県における障害者スポーツセンター整備基本計画

市民意識調査（2025年10月実施）結果と課題





現状

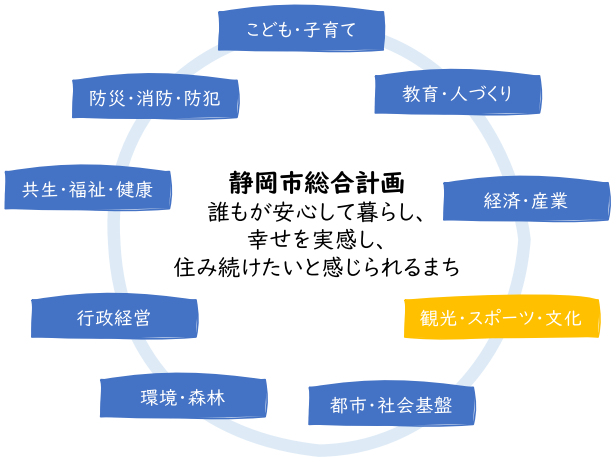
- 20～50代の働く世代のスポーツ実施率が低い。（2009年度から）
- 今回の調査では60代男性の実施率が低い。
- 運動・スポーツを週1～2日実施したいと思っている人の半分が、現在は「時間がないから」スポーツを行わないと回答。
- 勤務先で運動・スポーツの実施環境がある方が、週1日以上、運動・スポーツを実施する割合が高い。
- スポーツを行う施設や場所では、自宅や路上などの身近な場所での運動・スポーツを実施する割合が高い。（2009年度から）
- 運動・スポーツの実施頻度が高いほど、充実感や幸福感が高い。
- この1年間で「運動・スポーツをささえる活動」を行った方は13.0%。

課題

- 引き続き、20～50代をターゲットにした施策が必要。
- 「時間がない」という方をどのようにスポーツ実施につなげるか。
- 企業を対象にした、運動・スポーツの習慣化に関する施策を行うことでスポーツ実施率の向上につながる可能性がある。
- 自宅等で簡単にできる運動・スポーツの拡充が必要。
- スポーツが持つ充実感や幸福感を高める価値(力)を活用した誰もが参加できるスポーツ施策が必要。
- 「運動・スポーツをささえる活動=大会やイベントなどのスポーツボランティア」と捉えられることが多かったが、運動・スポーツをささえる活動は多岐にわたっているという意識に変換してもらうことが必要。
  例：チームや選手の活動をSNSに投稿
  　こどものスポーツ活動への送迎

第3期　静岡市スポーツ推進計画（2027～2035）【概要版】

計画の基本的な考え方



◆スポーツ推進計画の位置付け

静岡市スポーツ推進計画は、市の最上位計画である静岡市総合計画に基づき、スポーツ分野における施策や事業を具体的かつ計画的に推進するための計画であり、市が目指すまちの姿の実現に向けた「実施計画」として位置付けられるものです。

◆策定の目的

第2期静岡市スポーツ推進計画（2023～2030）のもと事業を進めてきました。2026年3月の静岡市第5次総合計画の策定に伴い、第5次総が目指す**「誰もが安心して暮らし、幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまち」**の実現のため、第3期スポーツ推進計画（2027～2035）を策定します。

第3期静岡市スポーツ推進計画

基本理念

スポーツを通じて、市民の健康を増進するとともに地域経済を活性化するまちにします

国や県、5次総を踏まえ、改定後の計画へ組み込む視点

これまでの健康増進のためのスポーツ振興に加え、
スポーツが持つ社会的効果を「地域を支え、未来を創る力」と捉え、最大限活用していく

ライフステージに応じた健康・ウェルビーイングの向上

- ライフステージに応じて、様々なスポーツに触れ、運動・スポーツが「楽しい」「続けたい」と感じられる取組の実施
- 企業に対して社員の運動・スポーツを習慣化させる取組を実施
- 体育館で開催しているスポーツ教室等に関する情報を一元化し、分かりやすく情報を発信
- スポーツ活動（イベントや大会等）を通じたあつまる・つながる機会の創出

スポーツに親しむための環境整備

- 人口動態や利用実態を踏まえたスポーツ施設の適正配置の検討
- 指定管理者制度の活用や民間活力の導入
- スポーツ・インテグリティ確保のため、指導者のスキルアップにつながる機会の確保

多様な主体との共働・共創によるスポーツの推進

- 観光、文化芸術、教育等、他分野との連携
- ホームタウンチームやスポーツ推進委員と連携したスポーツ参画機会の充実
- 企業や学生との共働によるスポーツ活動の活性化

ユニバーサルスポーツの聖地化の推進による共生社会の実現

- 誰もが、いつでも、どこでも楽しめる「ユニバーサルスポーツ」の聖地化
- ユニバーサルスポーツに関する大会やイベント、教室を開催

スポーツ資源を活用した地域・経済の活性化と地域の魅力向上

- 静岡市が持つ資源を活用した、スポーツによるまちづくりの推進
（ユニバーサルスポーツの聖地化、2030年開業予定の静岡市アリーナなど）
- 大会・合宿等の誘致によるスポーツツーリズムの推進
- ホームタウンチーム認知度向上を通じた、みるスポーツの拡大

基本方針	指標	代表的な施策（※基本施策は、複数の基本方針に関連する）
課題：誰もが健康・ウェルビーイングの向上につながるスポーツ機会を確保するため、ライフステージや生活環境に応じたスポーツ活動を推進する必要がある。		
基本方針1 **ライフステージに応じた健康・ウェルビーイングの向上** 市民の多様なライフスタイルに応じたスポーツ参加を促進するとともに市民の健康・ウェルビーイングの向上につなげます。	**【指標：16歳以上の週1日以上のスポーツ実施率】** 60%(2025)→70%(2030) →70%以上(2035)	学校・地域が連携した多様なスポーツ機会の確保 働く世代のスポーツ活動の推進 高齢者のスポーツ活動を通じた社会参加の促進 多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進（eスポーツの活用も含む）
課題：誰もがスポーツに親しむため、人口減少等を踏まえた持続可能なスポーツ環境を確保する必要がある。		
基本方針2 **スポーツに親しむための環境整備** スポーツを行う「場づくり」やスポーツを支える「人づくり」を通じ、誰もがスポーツに親しめる環境を整備します。	**【指標：する・みる・ささえるのすべてに参画した市民の割合】** 9.2%(2025)→15%(2030) →20%(2035)	スポーツ施設のマネジメント改革 スポーツ指導者の育成によるスポーツ・インテグリティの確保 スポーツボランティア活動の普及促進 ホームタウンチーム活動の推進によるみるスポーツ拡大
課題：市民スポーツの裾野を拡大するため、多様な主体による共働・共創によるスポーツ活動を推進する必要がある。		
基本方針3 **多様な主体との共働・共創によるスポーツの推進** スポーツ推進委員や地域、企業、学生、団体等との共働・共創を通じて、多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら連携し、新たなスポーツ活動や価値創出につながる機会を創出します。	**【指標：静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定団体数】** 22団体（2025）→100団体（2030） →200団体（2035） 静岡型スポーツ・イン・ライフとは、『「する・みる・ささえる」が互いに融合することで好循環が生まれる』という考え方。	ホームタウンチームとの連携・共働の推進 スポーツ推進委員との共働によるスポーツ活動の推進 地域や企業、他分野との連携・共働の推進 学生との連携・共働の推進
課題：共生社会の実現のため、ユニバーサルスポーツに係るソフト・ハードの一体的な環境整備及び人材・組織体制を強化し、市民や関係団体等との共働・共創により取組を推進する必要がある。		
基本方針4 **ユニバーサルスポーツの聖地化の推進による共生社会の実現** 清水区庵原地区を中心にユニバーサルスポーツの拠点を整備するとともに、統括団体と連携した取組を展開することで、人々が日常的に「あつまり」、地域や多世代との「つながり」を育みながら、誰もがスポーツを楽しめる共生社会の実現を目指します。	**【指標：庵原地区におけるスポーツ施設利用者数】** 406,062人(2025)→430,000人(2030)→450,000人以上(2035)	スポーツ施設のバリアフリー化 ユニバーサルスポーツ統括団体との連携・共働 ユニバーサルスポーツを通じたあつまる・つながる機会の創出 教育機関との連携による共生社会への理解促進
課題：市内のスポーツ資源（スポーツ施設やホームタウンチーム等）を活用し、地域・経済の活性化を推進する必要がある。		
基本方針5 **スポーツ資源を活用した地域・経済の活性化と地域の魅力向上** 市内スポーツ資源を活用し、地域の魅力向上、活力の醸成を推進します。あわせて、合宿・大会の誘致やスポーツ施設の民間活用、「みるスポーツ」の拡大を通じて、スポーツの成長産業化を図り、来訪・滞在を促進や地域の経済循環を創出します。	**【指標：スポーツイベント※における県外からの来訪者の割合】** 57.1%(2025)→65%(2030) →70%(2035) ※静岡マラソン、全国少年少女草サッカー大会、大学野球オータムフレッシュリーグin静岡、全国高等学校定時制通信制体育大会サッカー大会、日本知的障がい者バドミントン選手権大会等	スポーツによるまちづくりの推進 スポーツを通じたシティプロモーション 全国大会等の開催支援や合宿の誘致 【再掲】ホームタウン活動の推進によるみるスポーツの拡大